

SuccubusEcho マニュアル

はじめに

SuccubusEcho は、Black Arts Techs が開発したヴィンテージ風味のディレイ／リバーブ・プラグインです。

アナログテープエコーを思わせる温かみのあるサウンドに加え、独自の「Chaos」モジュールによる有機的な揺らぎを備えています。

ディレイに加えてプレートリバーブも搭載し、空間処理を一つのプラグインで完結できます。

本マニュアルでは、基本操作から応用的な使い方、トラブルシューティングやサポート情報までをまとめています。

まずはプリセットを呼び出し、SuccubusEcho がもたらす幻想的な空間の変化を体感してください。

1. 基本画面と操作方法

SuccubusEcho を読み込むと、以下のような画面が表示されます。



Delay セクション

- **Time / Sync**
ディレイタイムを調整します。Syncを有効にするとテンポに同期した音符単位、無効時はミリ秒単位で設定できます。
- **Feedback**
ディレイの繰り返し量を調整します。値を上げると反復回数が増えます。安全リミットが設定されており、発振しにくい設計です。
- **Tone (Delay)**
ディレイ音の明るさ／暗さを調整します。下げるとローファイで暗い質感、上げると明るく抜ける質感になります。
- **Width / Crossfeed**
左右に広がるエコー効果を作ります。
Widthを上げると左右への広がりが大きくなります。
Crossfeed を上げると左右の反射が混ざり合い、甘く滲むサウンドになります。
- **Mix (Delay)**
原音とディレイ音のバランスを調整します。0%で原音のみ、100%でディレイのみを出力します。
- **Chaos**
ディレイタイムや定位をランダムに揺らし、有機的な不安定感を演出します。トグルで“Charm / Obsession”のモード切替が可能です。

Plate Reverb セクション

- **Decay**
リバーブの残響時間を調整します。数値を大きくすると長く、幻想的な残響が広がります。
- **Tone (Reverb)**
リバーブ音の明るさ／暗さを調整します。下げると落ち着いた暗い響き、上げると明るく透明感のある響きになります。
- **Width**
リバーブのステレオ幅を調整します。100%以上に設定すると広がり感が強調されます。
- **Rev Mix**
ディレイ音に対してリバーブをどの程度加えるかを調整します。

- **Rev Dry**
原音にリバーブをかけるかどうかを切り替えるボタンです。
Off時には、ディレイ音にのみPlateセクションの設定が反映されます。
On時には、原音にもPlateセクションの設定が反映されます。

Master セクション

- **Output Trim (Master)**
プラグイン全体の出力レベルを調整します。±12dB、ダブルクリックで0dBにリセットできます。

プリセットの読み込み・保存

画面上部のプリセットメニューから標準プリセットを呼び出せます。
また、自分で作成した設定を「Save Preset」で保存し、再利用することも可能です。

2. 機能解説と応用例

- **テンポ同期ディレイ**
Syncをオンにして1/4や1/8に設定すると、DAWのBPMを検出し、同期したディレイが得られます。
- **クロスフィードで広がりを演出**
Crossfeed を 20～40% にすると、シンプルなステレオソースでも空間的な広がりが生まれます。
- **Chaosによる揺らぎ**
Chaosを弱めに設定するとアナログテープのような自然な揺らぎ、強めると幻想的で不安定な空気感を作れます。
- **ディレイ+リバーブの組み合わせ**
Rev DryがOff時にはディレイの繰り返し音だけにPlate Reverbがかかるため、幻想的な残響が広がります。
ボーカルやギターのリズムに効果的です。

サンプル設定例

- **ボーカル**: Time 400ms、Feedback 20%、Crossfeed 30%、Reverb Mix 20% → 透明感のある空間。
- **ギター**: Sync 1/8、Chaos 弱、Feedback 35%、Reverb Decay 2.5s → ビンテージ感と深み。
- **ドラムスネア**: Sync 1/16、Feedback 15%、Chaos 強、Reverb Mix 40% → インダストリアルで不安定な響き。
- **シンセパッド**: Time 600ms、Feedback 50%、Crossfeed 50%、Reverb Decay 5s → 広がりのあるアンビエント感。

3. トラブルシューティング

- **音が出ない**
 - DAW上で正しくロードされているか確認してください。
 - Mix (Delay) が0%になっていないか確認してください。
- **プラグインがDAWに表示されない**
 - インストール先フォルダがDAWのスキャン対象になっているか確認してください。
 - VST3の場合: Macは~/Library/Audio/Plug-Ins/VST3、Winは C:\Program Files\Common Files\VST3 を確認してください。
 - AUの場合: Macの/Library/Audio/Plug-Ins/Components/ を確認してください。
- **ディレイが発振して止まらない**
 - Feedbackを下げてください。内部リミットはありますが、極端な設定では長く残響が続く場合があります。
- **CPU使用率が高い**

- ReverbのDecayを長く設定した場合や、複数インスタンス使用時に負荷が増えます。必要に応じてフリーズ機能やバウンスを活用してください。
- **デモ版の制限**
 - デモ版では30秒ごとにノイズが挿入され、「DEMO」透かしが表示されます。
 - 製品版シリアルを入力すると制限が解除されます。

4. サポート情報

SuccubusEcho を快適にお使いいただくためのサポート窓口です。

- **お問い合わせ先**

support@blackartstechs.com

その際は以下の情報を添えていただくとスムーズです：

- ご使用のOS（例: macOS 15.6 / Windows 11）
- ご使用のDAWとそのバージョン
- SuccubusEchoのバージョン
- 問題の詳細（再現手順やスクリーンショット）
- **公式サイト**

<https://blackartstechs.com>
- **バージョン表記の見方**

SuccubusEchoのバージョンは「メジャー.マイナー.修正版」で表記されます。

例: 1.0.0

 - 1 = メジャーアップデート（大きな新機能追加など）
 - 0 = マイナーアップデート（改善や小規模な追加）

- 0 = 修正版（バグ修正や安定性改善）

プラグイン画面のタイトルバー、またはDAWのプラグイン情報画面から確認できます。